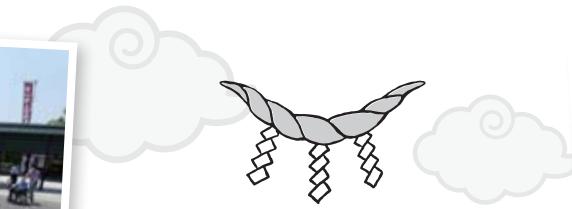


羅針盤

介護福祉士

らしんばん



え が お

五月晴れのある日、最上稻荷まで遠足に出かけました。エレベーターを新設したとのことで、車椅子のご利用者様も本殿まで参拝する事ができました。手水舎で手水を取り深々と拝んだり、おみくじを引いて一喜一憂したり…。思い思いに参拝でき、心は清められ晴れやかになりました。昔を懐かしむ方や初めて参拝された方など皆さん喜ばれ、私たちも元気をもらいました。

おおさ苑グループホーム なごみの家 磯田 明枝



— 2024・2025年度 —
一般社団法人 岡山県介護福祉士会

理事会・総会 報告

2025年3月12日（水）

2024年度 定例理事会

第1号議案 2025年度事業計画（案）について

第2号議案 2025年度収支予算（案）について

*出席理事により、第1・2号議案は審議され、承認されました。

2025年5月16日（金）

2025年度 定例理事会

第1号議案 2024年度事業報告・決算報告（案）について

*出席理事により、第1号議案は審議され、承認されました。

報告事項 会員入会状況

2025年5月23日（金）

2025年度 定時社員総会

第1号議案 2024年度事業報告・決算報告（案）及び監査報告について

第2号議案 2025年度事業計画・収支予算（案）について

*出席者（委任状によるものも含む）により、第1・2号議案について審議され、承認されました。

報告事項 会員入会状況

令和7年度の総会を終えて

会員の皆様

令和7年度の総会を5月23日（金）執り行うことができたことを報告いたします。

5月16日（金）に行われた理事会では、事業内容が充実していることに称賛の言葉を頂きました。しかしながら、毎年の会員数の減少については大きな課題であり改善対策の検討を問われました。

総会では、報告や説明だけでなく質疑応答もあり活気ある総会となりました。

介護福祉士を取得している皆様が取得した責任と使命をもって、社会的地位の向上を目指して介護福祉士会に入会していただき共に活躍してくださることを希望します。

会長 安達 悅子

インタビュー Interview!!

光輝高齢者になろう！

児玉喜代子さん



【略歴】

昭和12年、兵庫県神戸市に生まれる。3児の母として子育てをしながら、幼稚園父母の会の会長を始め、約17年間PTA運営に携わる。その後、家族福祉会や独居老人への給食配布活動を行う中で社会福祉への関心を深め、病院勤務をしながら介護福祉士の資格を取得。2000年、介護保険導入と同時に介護認定審査委員となり、23年間活躍する。2001年からデイサービスで17年間勤務し、80歳で退職。現在は岡山市内の3か所で「アッパレ桃太郎体操教室」と介護予防活動に注力中。

介護をするうえで何が一番大切だと思いますか？

難しい質問ですが、ただ必要な介助をするだけでなく、その方の心の支えとなることが大切だと思います。介護をする際、その人がもし私の家族だったらどうするだろうと想像して接すると良いでしょう。

現在、介護予防士として注力されていますが、やろうと思ったきっかけは何ですか？

病院勤務時代、小児科で子どもを見ていました。子どもは病気が治れば元気に退院しますが、高齢者の場合はそうではない方が多く、寝たきりの方も多い状況でした。戦争を経験された方々の最期がこれでは嫌だなと思い、『最期まで介護なしで、自分の足で歩き、生き生きした老人になりたい！』と感じたのです。そのためには介護予防の知識が不可欠だと考え、自分自身が学び、人にも伝えたいと思いました。介護概論をeラーニングやZoomで学び直し、86歳の時に全国初のオンラインでの介護予防指導士試験に合格しました。

現在はどのような活動をされていますか？

現在は介護の仕事自体はリタイアしましたが、岡山市内の3か所で『アッパレ桃太郎体操教室』の責任者として介護予防に尽力しています。参加者全員で頭や体の体操を行い、最期まで自分の足で歩くことを目指して頑張っています。

介護予防には、①バランスの良い食生活（特にタンパク質やカルシウムを含む食品が転倒予防に重要です）。②継続的な運動習慣（座りっぱなしを避け、日常生活の中で積極的に身体を動かすこと）。③良い睡眠（朝日を浴びることが効果的です）が重要です。

今年は2025年問題もあり、今後介護難民や病院難民が増える可能性があります。そうならないためにも、元気に過ごしていただきたい。若者に希望や憧れを与えられる『光輝高齢者』を目指しましょう！

最後に会員の皆様へひとこと

まずは介護の仕事に誇りを持ってください。利用者の方々を最も身近に見ているのは私たち介護福祉士です。そのためにも、正しい知識を日々学び続けることが重要です。

今は非常に良い時代です。若者でも高齢者でも知的好奇心と行動力があれば、いつでもどこでも学ぶことができます。介護福祉士資格取得がゴールではありません。そこからがスタートラインです。さらに認定介護福祉士資格もあるため、若い世代にはそのような目標を目指していただきたいです。

介護フェス 告知

岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会主催の魅力発信事業として、毎年開催されている「Okayama 福祉・介護フェス2025」が、8月2日（土）に、岡山コンベンションセンターにて開催されます。魅力発信と将来的な福祉人材確保を重点取り組みとして、小中高生・学校・教員等を対象とした参加型のイベントです。

そのイベントで、当会は、メインステージでの養成校学生による介護技術のデモンストレーションとインタビューをお届けする予定です。また、構成団体の企画として、「介護のポイントセミナー～楽介（楽な介護）体験してみませんか～」、ちょっとしたポイントで、楽に介護の方法を伝授したり、トロミ食の体験などを企画しています。

お時間がある方は、どうぞお立ち寄りください。

（副会長 齋藤）

＼介護の日イベント／
今年もやります。

介護グランプリ 2025

令和7年11月4日(火)
多数の参加をお待ちしています!!

岡山県介護福祉士会 研修・イベントスケジュール 2025

今後の状況により、延期または中止や一部内容が変更となる場合があります。ホームページ等でお知らせします。

スケジュールには掲載していない研修や各地区で行う地区研修も開催しています。

地区研修などの開催につきましては、ホームページでご案内いたします。どの地区の研修でもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。また関連団体からご案内があったセミナーやイベントもホームページでお知らせしています。あわせてご覧ください。

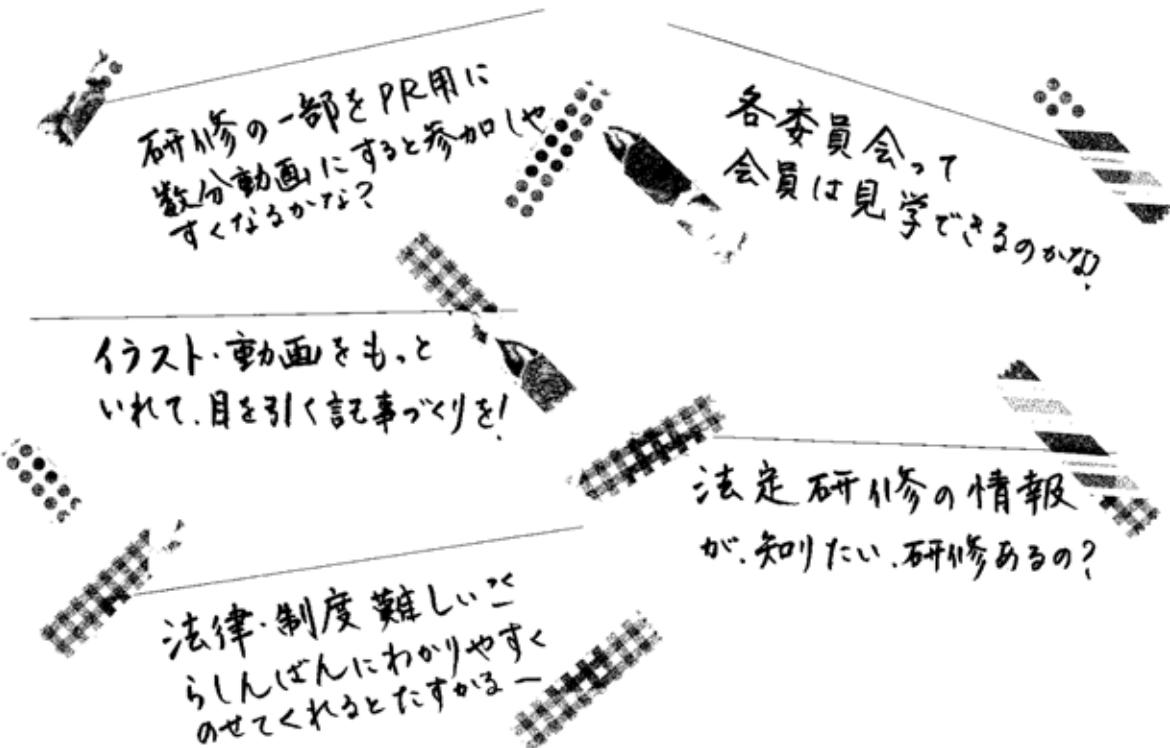
委員会紹介

委員会って
実際どんな活動をしたり、
話をしているの？

今回は、広報委員会に聞いてみよう

→広報は年に4回Zoom会議で「らしんばん」「広報について」など、委員が意見を出し合っています！（＾＾）！

最近の委員会では、6名（各地区から広報委員として15名の代議員がいます）が出席し、2025年度に向けて広報活動に対して、活発な意見交換をすることができました。一部を紹介します_（・_・）



いろいろな事業所や個人経営の委員がいるため、意見を耳にするとワクワクします（‘艸’）
そんな意見だからこそ！せっかく聞いても、そのままにしておくのは「もったいない！」そこで思いついたのが、「らしんばんで共有する」でした。解決できる内容や、情報を共有することで、今の時代に合った活動やらしんばんの新規記事につながると考えました。また、委員だけでの意見ではなく、会員さんのお力をかしていただき、ぜひ、多くの意見や知恵をお願いできれば嬉しいです_（・_・）_一步ずつ、少しずつ専門職として…共に進みましょう（‘艸’）

安心セミナー

令和6年度岡山県潜在的有資格者等再就業促進事業

潜在介護福祉士の安心セミナーを令和7年2月14日、3月8日に旭川荘厚生専門学院吉井川キャンパスで行いました。午前は普段の生活と職業倫理がどうつながっているか、自身の介護観のベースはどこにあるのか、専門職として必要な視点と合わせ「倫理」について考える時間となりました。午後からは、介護ロボット（ロボットスーツ）を体験し、また、介護技術では参加者のニーズを伺いながら、復職した際に不安な面の技術をお伝えしました（今回は水平移動やパジャマの着脱やバイタル測定、おむつ体験を実施）。参加者からの感想をいただき、改めてセミナーの意義を実感できました。感想を一部ご紹介します（＾＾♪

参加者の感想

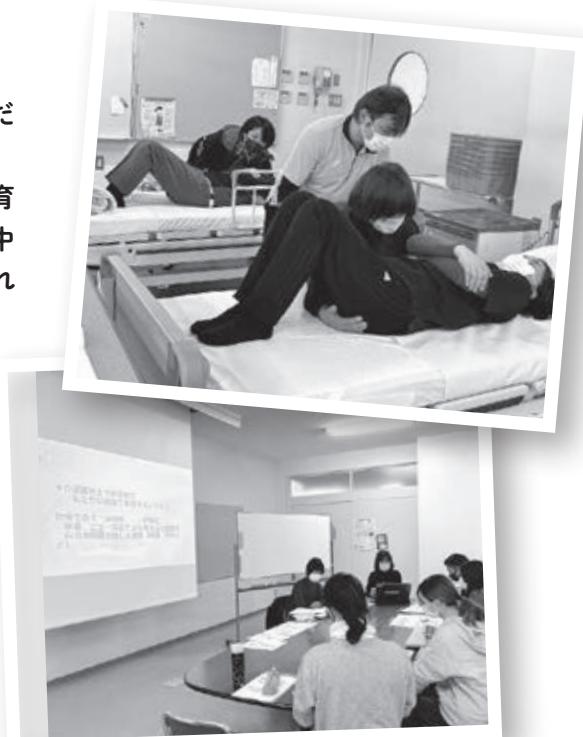
介護職は、人への深い理解や、高い道徳性が求められる仕事だと改めて感じました。

今は仕事から離れていますが、介護職の経験で得たものが子育てに生かされていると感じたし、子育てを試行錯誤している最中の私にとっては、人として、親としてどうあるべきかを考えられる貴重なお話でした。

高い倫理観と情熱を持って、方針を示してくれるリーダーがいると安心して働けると思うので、もし介護職に復帰した際にはいつかそんなリーダーになれるよう自己研鑽していきたいし、今は家庭で子供たちの良い親であるように、自分を振り返りながら心を磨いていきたいと思いました。

ディスカッションで他の方のご意見を聞くのがとても楽しくて、あっという間の2時間でした。

素晴らしい講義をありがとうございました。



講師の感想

とても真剣に介護と向き合い、尊厳を大切にした関わりをしようと思っている介護福祉の方の想いに応えられる現場作りの責任を感じる時間にもなりました。私が皆さんからたくさん仕事を学ばせていただいた2日間でした。

今回は昨年に続き、2回目のセミナーとなりました。潜在的有資格者の発掘が難しく、参加者が少数となりましたが、参加者の感想、また講師の有資格者に込める想いなどを通して開催の意義を深く感じました。ご協力してくださった県の担当者様、広報でお世話になった友野印刷様に感謝申し上げます。

（潜在介護福祉士発掘プロジェクトチーム）

紹介します！

地区活動 地区研修

岡山地区

地区活動

4月8日（火）岡山地区役員会を開催しました。Zoomを含めて6名が参加し2月に行われた福祉ネイル研修の振り返りや今年度の活動について話し合いました。今年度は、研修とイベントを複合したものを計画中です。詳細は決まり次第HPやらしんばんに掲載予定です。今年度もよろしくお願ひします。また、これらの活動と一緒に企画する地区役員も募集しています。ご興味のある方は岡山県介護福祉士会事務局までお問い合わせください。

(岡山地区：広報・森岡)

倉敷地区

地区活動

昨年度は11月に茶話会を行い、12月にみずしま財団の海ボウズプロジェクトで八間川大根洗い場の清掃に参加しました。

今年度は11月15日にフットケア研修、1月17日には障害者福祉関係の研修を予定しています。

フットケア研修の講師には、血の道療法の指導者資格を有した坪井美由樹氏に来ていただきます。この研修では、血の道療法…あらゆる病気の原因となる「血の滞り」の改善を目的とした日本フットケア協会のケア技術の基本を学ぶことができます。

研修の詳細はホームページをご参照ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(倉敷地区：広報・内藤)



真庭地区

地区活動

真庭地区では、7月に横のつながり交流会を企画しております。5月・6月と参加される方に楽しんでいただけるように会議を重ねております (*^_^*) 交流会では、今までの真庭地区の活動報告や今後の真庭地区の活動方針についても報告させていただきます。

会員の方・非会員の方も参加していただき、普段の介護の悩みや思いを通じて楽しく交流できたらと思いますので、是非とも参加してもらえたうらうらと思います。

(真庭地区：広報・古山)



新見地区

地区活動

4月15日に、お花見散策会としてごみ拾いを兼ねた親睦会を計画しましたが、あいにくの雨天の為、急きょ情報交換会を開きました。OBの会員さんも招いた会でしたが、私と地区部長の田辺さん二人だけの参加でした (;∀;)

でもランチをしたカフェはまるで貸し切り状態で、大いに笑って話して、楽しい近況報告となりました。また、新たな企画をしていますので、新見地区の方はぜひご参加くださいね。

(新見地区：広報・磯田)

美作地区

地区活動

前回のらしんばんで「2月に研修を企画中」という内容の地区活動報告を書きました。どんな記事だったんだろう?と思われる方は軽い気持ちでバックナンバーを読んでみて下さい。

今回の地区活動報告ですが、2月の研修の報告をと言いたいところですが研修報告は別記事として掲載されていますので、地区活動についてのみ書かせていただきます。

菅原直樹先生の「介護の魅力発信～みんなでケア～」はシリーズ化!今年も10月開催を目標に計画しています。研修会場は県北の施設のどこかでと考えております。

気になる研修が職場で!?そんなワクワクを美作地区に広めていきたいと思います。

その他職員が気になるテーマ、例えば遺言の書き方、相続、お金の話、そんな話が聞きたい場合はセミナー開催の相談にもがんがん乗っていきます!

2月の研修で参加者のみなさんに元気をもらいました!しっかり充電した地区パワーで今年の活動を盛り上げたいと思いますので引き続き美作地区に注目して下さい。みんなで盛り上げましょう!

(美作地区:広報・福田)

美作地区研修報告

2025年2月22日に美作地区研修会を開催しました。

講師は、『老いと演劇』 OiBokkeShi主宰の菅原直樹先生をお招きました。参加者は15名でした。

内容は「一緒に働くと一緒にケアする」ための研修。様々な価値観を認め合いながらみんなでケアをするための「対話のリハーサル」です。

始めに、会話と対話の違いについて話されました。会話とは、友達などの親しい人と話をする事で、二人もしくは少数で話し合うことですが、会話には明確な目的やゴールがありません。それに対し、対話では何かしらのテーマに基づいて、それぞれの意見を述べ合います。対話とは、互いの立場や意見の違いを理解し、そのズレを擦り合わせる事が必要だと説明がありました。

その後、対話の演劇をプロットのエピソードを考えて作りました。日頃、介護現場に出てきそうな内容の演劇をグループに分かれて発表しました。介護職とナースとの対話の演劇や、家族の思いと施設側の対応についての演劇と3つの場面設定でした。とてもリアルで笑えました。お互いの立場や価値観・感情を尊重しながら対話を促す事の大変さ、対話を通じて新しい価値観を生み出す事ができるのか?ケンカで終わったり1人を悪者にするのではなく、自分や相手の言い方だったり表情や態度・第三者が入る事で、冷静に見たり客観的な意見が聞けたり、両立の立場でどっちが良い・悪いじゃなくて、どっちもリアルよね、分かるよねって言う少し違う意見の人がいても、あーこの人はこう考えてるのかなあ?と正解がないのが新鮮で相手の立場ならこう考えてるのかなあ?と考えさせられる対話の演劇でした。

自分がいつもやっている事は対話しながら出来ているのか?!対話の大切さを感じました。

この研修を機会に現場でも対話が出来るように頑張って行こうと思いました。皆が立場や職種の違いを理解し、相手の事を考えて対話出来る人になれたらイイなぁ!と思える研修でした。



高梁・総社地区

地区研修

今回は、高梁・総社地区にて、長島愛生園の介護員であり、上級臨床倫理認定士の城島義隆先生に講師をしていただきました。講義テーマは、倫理研修「職場における大切なもの～ひとりひとりの大切さの違いについて考える～」でした。

講習の内容としては、事例をもとに「自分だったらどうしたか」、「どんな行動ができたか」や、医学的な観点から物事を考えたり、本人の意思決定の選択、人生レベルでの望むことなどを検討し合いました。

私たち自身も、医療・介護現場に身を置く立場として一方から物事を見るのではなく、色々な視点から考える力を身につけることで利用者や患者のために何ができるかを考える力がつくように感じました。

また、職場でのより強固なチームワークとより良い選択のためにディスカッションを行うことの大切さも分かりました。職種によって考えることや必要だと感じることは違いますが、お互いの思いや考えを共有することで相手の考えを理解し、「当事者のために」できる最善策を見つけるきっかけにもなると思いました。

(高梁・総社地区:広報・染谷)

＼がんばっています／ 青年隊「晴れる家」隊員

活動報告



研修報告

2月28日（金）18:00～岡山県生涯学習センターにて、「介護福祉士の発信力」というテーマで研修を行いました。

講師は、名古屋医療秘書福祉＆IT専門学校介護福祉科の井手野日南先生にお越しいただきました。井手野先生は以前岡山におられ、晴れる家に所属しておられました。その縁あって今回の研修をお引き受けくださいました。

参加者19名と大賑わいで楽しい研修となりました。普段からコミュニケーションに悩んでいる方が多く、今回の研修テーマに興味をもって参加してくださった方が多いようでした。



「介護過程の思考展開が、発信力向上に繋がります大作戦」として、介護職が普段から行っている介護過程の思考プロセス（課題分析、統合化、目標設定など）を活かし、自己課題に向き合うワークを行いました。そして3人グループになり、一人の自己課題に対して3人で意見を出し合い、関連図を作成しました。1つの事象をなぜ？と深堀したり、関連する事柄を横に広げたり、統合したりと、図にすることで頭の中が整理される体験をしました。思ったことを簡単に言葉にするのではなく、その前に自分の考えを深め言語化することで、相手に伝わる言葉を持つことができる学びました。

研修後は短く懇親会を行い、和気あいあいと楽しい時間となりました。

（晴れる家 早見）



花見

今年も旭川河川敷さくらカーニバルでお花見をすることができました。昨年参加してくださった方、2月の研修に参加してくださった方、お子さん連れでの参加があり、計15名の参加となりました。天気にも恵まれ、さくらも満開で、屋台が並び大変な賑わいでした。美味しいお肉を食べながら、それぞれの職場での仕事のことや、ちょっとした悩みなども話すことができました。職場外の介護職の人との交流は、気兼ねなく悩みを話すことができたり、自分自身にはない枠組みを超えた意見に触れられたりと貴重な機会であると感じました。こういった介護関係の人たちとの交流の機会がもっと増えて欲しいとご意見を頂き、今後の活動に反映させていきたいと思います。

（晴れる家 早見）

報 告

岡山県被災者支援士業連絡協議会につきましてご報告

岡山県介護福祉士会災害支援ボランティアチームより、岡山県被災者支援士業連絡協議会につきまして、ご報告させていただきます。

2022年に発足した、岡山県被災者支援士業連絡協議会とは、福祉系、技術係、法律系の幅広い分野の「士業」と呼ばれる岡山県内の団体で構成されています。岡山県介護福祉士会では、岡山県被災者支援士業連絡協議会と2024年8月に9団体目として協定を結びました。

災害発生時だけではなく、平時の備えのため、2025年2月18日に岡山県庁にて、「防災まちづくり・被災者支援・被災地復興への専門家派遣に関する協定」を締結いたしました。



岡山県との協定締結後、岡山県庁にて。
左から小林災害支援地域リーダー・
安達会長・加納

これにより、岡山県被災者支援士業連絡協議会は県からの要請に、平時は岡山県内の各地域における避難行動要支援者の個別避難計画、地区防災計画及び防災マップの策定、防災教育、その他防災・減災を目的とする活動を支援するためのアドバイザーの派遣を実施します。また、災害発生時には、被災者の心身の健康確保及び生活再建に向けた法律、福祉並びに技術に関する相談その他各種相談に対応するための専門家の派遣などが行われていくことが想定されます。

岡山県介護福祉士会では、今後も災害発生時だけでなく平時からの防災意識の向上のため、様々な団体と連携を行うとともに、介護福祉士としての専門的な力も発揮できるように努めていきたいと思います。

（岡山県介護福祉士会災害支援チーム 担当理事 加納忠紘）

介護福祉士としての活動に伴う表彰についてご報告

お世話になります。災害支援チームの加納です。昨年度になりますが、介護福祉士として陸上自衛隊優秀隊員表彰を受けましたので、ご報告させていただきます。

私は、介護福祉士の資格を取得する前に、自衛隊にて勤務をいたしておりました。除隊し岡山に戻ってくる際に、自衛隊では災害など有事の際には、自衛官として職務に着く即応予備自衛官という制度があり、応募しました。年間30日の訓練に参加しております。2011年3月東日本大震災では、即応予備自衛官として派遣されましたが、介護福祉士の資格を有しておりましたので、医師や現職自衛官と共に避難所を巡回する任務につき活動をしてまいりました。

昨年発生した能登半島地震では、介護福祉士の資格を生かし、DWAT隊員として2度派遣活動に参加いたしました。

その他、社会福祉士としても、西日本豪雨・能登半島地震での活動も行いました。

今回、即応予備自衛官としての身分にある自分が、災害支援において介護福祉士として、岡山県介護福祉士会の一員としての活動につきまして、評価をいただき今回の表彰となりました。

また、平時の活動として、剣道指導や地区での民生活動なども合わせて評価を受けております。

2024年11月に東京の明治記念会館にて、陸上自衛隊陸上幕僚長より直接、表彰を受けさせていただきました。



今回の受賞につきましては、介護福祉士会にて福祉についての自己研鑽と共に、様々な方々のお力添えの結果だと思います。これからも介護福祉士会、そして、災害支援チームにお役にたてるよう精進してまいります。

ありがとうございました。

加納忠紘

みんなの広場

ほっとステーション



今回、ほっとステーションの記事を担当する美作地区の福田です。

本来であればこのコーナーは介護現場でのほっこりするようなエピソードが掲載されていますが、実は私、介護職ではないんです。保険の代理店で働く元介護職員、現場でのエピソードがないでどうしようか悩んでの今回の内容となります。

まずは昨年の美作地区で開催したフットケアの動画、QRコードを掲載するので見て下さい。ひょっとしたら解像度の関係でうまく見えないかも？そんな場合は雰囲気でも感じて下さい。



次に考えたのがこのらしんばんをもっと読んで欲しいということで、仕事合間に直接介護施設へお届け！した様子を写真で。取材の協力してくださった蛍流荘様、みまさか園様、ありがとうございました。

最後に転職前のグループホームでのエピソードを一つ紹介！なんですが、あまりきれいな話ではないのでお食事前の方は続きを読むは後から読まれた方がよいと思います。

いつも便秘に悩まされていたおばあさんがいて、やっとすっきり排便が出た後の介助の時に「若い頃から便秘気味だったんですか？」って尋ねたらすぐにこう返されました。

「あんたを産んでからな！」

思わず「すみません」と謝りました。

さあ！次回このコーナーを担当することがあるのかな？

あれば外から介護に関わる中でのできごと、介護職時代の思い出など書いてみようと思いますのでよろしくお願ひいたします。



(美作地区：広報・福田)

ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。
同じ“介護”で働く皆さんと共有できる、そんな情報を待ちています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

森岡 剛士	三宅真奈美
田中 秀樹	内藤 佑弥
好本 啓	岡本 奈々
城島 義隆	岡田 貴弘
古山 喬成	福田 洋平
西本 光男	磯田 明枝
樋口久美子	染谷 和哉
松井 皇彦	